

TAMA CINEMA 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ヘルプ永山(永山公民館内)
代表:042-337-6661 直通:080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

第23回映画祭TAMA CINEMA FORUM

11/23(土・祝)~12/1(日)
(25日(月)は休映)

晩秋に開催される映画ファンの祭典「第23回映画祭TAMA CINEMA FORUM」(主催:TAMA映画フォーラム実行委員会、公益財団法人多摩市文化振興財団)が、今年も11月23日(土・祝)~12月1日(日)の日程(25日(月)は休映)で、東京都多摩市内の3会場4スクリーンで開催されます。

第5回TAMA映画賞

11月23日(土・祝)
パルテノン多摩大ホール 11:00~

多摩市及び近郊の市民からなる実行委員が「明日への元気を与えてくれる・夢をみせてくれる活力溢れるくいきのいい」作品・監督・俳優を、映画ファンの立場から感謝をこめて表彰いたします。



昨年(第4回)TAMA映画賞受賞者の皆さん

[第5回TAMA映画賞受賞作品・受賞者(敬称略)]

作品賞	『さよなら溪谷』(大森立嗣監督、及びスタッフ・キャスト一同) [受賞理由] 人間の多様な豊かさ、再生と希望を極限の愛の形を通して鮮烈に描き出した。
	『横道世之介』(沖田修一監督、及びスタッフ・キャスト一同) [受賞理由] 誰かの人生に関わって生きていくことの素晴らしさを再認識させてくれた。
特別賞	原恵一監督、及びスタッフ・キャスト一同 (『はじまりのみち』を通して木下恵介監督のヒューマニズムと信念を真摯な姿勢で現代に甦らせたことに対して) [受賞理由] 木下恵介監督の世界観を真摯に表現し、時代を越えた人間愛を甦らせた。
	大根仁監督、及びスタッフ・キャスト一同(若者を熱狂の坩堝に巻き込んだ『恋の渦』のエンタテインメント性に対して) [受賞理由] 軽佻浮薄な若者たちのドラマを、堂々たるエンタテインメントに創り上げた。
最優秀女優賞	真木よう子(『さよなら溪谷』、『そして父になる』、『すーちゃん まいちゃん さわ子さん』、『つやの夜』) [受賞理由] 尊厳を傷つけられながらも生き抜く女性の姿を繊細かつ豊かな表現力で演じきった。
	吉高由里子(『横道世之介』、『真夏の方程式』) [受賞理由] かけがえのない日々を振り返る姿に、時の重みと成長を鮮やかに体現した。
最優秀男優賞	松田龍平(『舟を編む』、『探偵はBARにいる2』、『北のカナリアたち』) [受賞理由] 言葉の大切さを台詞以外で表現し、年齢を重ねるごとに魅力が深まっている。
最優秀新進監督賞	中野量太監督(『チチを撮りに』) [受賞理由] 笑いあり、涙ありの家族の小さな物語が観客に元気と勇気を与えた。
	白石和彌監督(『凶悪』) [受賞理由] 人間の業や罪へのあくなき探究心が類まれなバイオレンス作品を誕生させた。
最優秀新進女優賞	黒木華(『シャニダールの花』、『舟を編む』、『草原の椅子』) [受賞理由] 古風で文学的な佇まいと凛とした瑞々しさを役柄を際立たせる稀有な存在である。
	刈谷友衣子(『シャニダールの花』、『中学生円山』、『鈴木先生』) [受賞理由] 作品の世界観を的確に捉え、観客のイマジネーションを高める力を持っている。
最優秀新進男優賞	星野源(『箱入り息子の恋』、『地獄でなぜ悪い』、『聖☆おにいさん』) [受賞理由] 瑞々しい演技のみならず、声優・映画音楽など幅広く観客を魅了した。
	池松壮亮(『横道世之介』、『上京ものがたり』) [受賞理由] 登場人物としてずっと生きてきたかのように役にはまり、鮮やかな印象を残した。

第23回映画祭TAMA CINEMA FORUM

第14回 TAMA NEW WAVE コンペティション

11月30日(土)
ヴィータホール (関戸公民館8F)
10:30~

――骨のある人求む!来たれ!本格派映像作家!――ノミネート5作品一挙上映&グランプリ発表!!

中・長篇 (30分以上 100分以内) の映像作品を対象とした若手作家のコンペティション。日本映画界に新風を送り込む新しい才能を発見し、TAMA より広く発信することを目的としています。グランプリを獲得した及び過去にノミネートされた監督には深川栄洋監督(『60歳のラブレター』『神様のカルテ2』)や石井裕也監督(『川の底からこんにちは』『舟を編む』)などがおり、海外の映画祭でも注目されております。11月30日ヴィータホールにてノミネート作品を一気に上映し、当日グランプリが決定。ゲストコメンテーターに宇田充プロデューサー(アスミック・エース)と女優の片岡礼子さんをお迎えします。

第14回 TAMA NEW WAVE ノミネート作品

- 『あの娘、早くババアになればいいのに』(頃安祐良監督)
- 『家族の風景』(佐近圭太郎監督)
- 『それからの子供』(加藤拓人監督)
- 『Dressing UP』(安川有果監督)
- 『バクレツ!みはら帝国の逆襲―世界解放宣言―』(三原慧悟監督)

[作品名の五十音順で掲載]

こちらもぜひご覧ください。

TAMA NEW WAVEある視点

11月26日[火] - 11月29日[金] ベルブホール (永山公民館5F)

コンペティションノミネートを最後まで競った作品のなかで実行委員から強い支持のあった個性あふれる20作品を4日間に分けて上映!(学生は入場無料 [学生証の提示が必要になります])

● TAMA CINEMA FORUM とは ? ●

日本映画の活性化をめざして映画ファンのネットワーク作りをめざす TAMA からの発信

映画誕生2世紀を迎えた今日、「日本映画について」真剣に論議がされるようになってきています。ここ2~3年世界的にも日本映画への評価は高まってきてはいますが、一方映画産業は厳しさを増しています。文化庁においても、日本映画の活性化のために審議会を設け、何らかの方策を模索し始めています。TAMA CINEMA FORUM では、映画の今後の課題は「見る人、見せる人、創る人」の交流の場作りと考えています。

1. 映画祭と通じた創り手と観客との交流
2. 映画ファンのネットワーク作り
3. 人材の発掘
4. 日本映画を上映する場の拡大をフォーラムの活動として展開しています。



映画祭おススメ企画

今年の映画祭では約 70 本の作品が上映されます。そのなかで洋画は、インド、フランス、東アジア映画と幅広い地域の映画が上映されます。ここでは、そんな洋画作品についてご紹介いたします。



©2012 FOX STAR STUDIOS INDIA PRIVATE LIMITED



©Vinod Chopra Films Pvt Ltd 2009. All rights reserved



©Paolo Woods

●インド映画●

11.24 (日) パルテノン多摩小ホール 世界に羽ばたくボリウッド – 魅力広がるインド映画 –
世界が大注目の映画大国インドから届いた象徴的な 2 作品。子どもたちの生き生きした表情、社会へのまなざし、歌と踊りの華やかさ……。進化を続けるボリウッド・フィルムの魅力を体感してください。

スタンリーのお弁当箱 (Stanley Ka Dabba)

[96 分 / 2011 年 / インド / 監督：アモール・グプテ 主演：パルソー]

スタンリーはいつも明るくみんなを笑わせてくれるクラスの人気者。級友たちが楽しくお弁当を広げるお昼休み、いつもこっそりとクラスを抜け出す。お弁当を持ってこられないのでトイレで水を飲んで空腹を紛らわせるのだ。そんなスタンリーを見かねた級友たちは……。

きっと、うまくいく (3 Idiots)

[170 分 / 2009 年 / インド / 監督：ラジークマール・ヒラニ 主演：アーミル・カーン]

超難関の理系大学 ICE で学んだファルハーンとラージュは、ともに数々の騒ぎを起こして競争絶対主義の学長に異議を唱えた仲間のランチョーの行方を探していた。彼らの前に現われた同窓生のチャトルの情報をもとに、10 年ぶりの再会にむけて走り出す。

●フランス映画●

11.30 (土) ベルブホール フランス映画の新たな息吹 – 女性が描く初恋、そして家族の記憶 –
近年、目覚ましい活躍を見せる 2 人のシネアスト、ミア・ハンセン＝ラブ、ジュリー・デルピー監督作品を特集。女性らしい感性で、自らの体験を基に初恋と家族の記憶を美しいフランスの風景の中で描いた傑作群です。

グッバイ・ファーストラブ (UN AMOUR DE JEUNESSE)

[110 分 / 2011 年 / フランス / 監督：ミア・ハンセン＝ラブ 主演：ローラ・クレトン]

高校生のカミーユとシュリヴァンは、深く愛し合っていた。しかし、2 人の関係はシュリヴァンに長期旅行の話が出たころから気まずいものになってしまう。やがてカミーユの懇願も聞き入れず、シュリヴァンは旅立ってしまう。数年後、2 人はかつてのように再会するのだが……。

スカイラブ (LE SKYLAB)

[113 分 / 2011 年 / フランス / 監督・主演：ジュリー・デルピー]

家族旅行の列車の中、4 人家族の母、アルベルティーヌは子供の頃のバカンスのことを思い出す。1979 年の夏、11 歳のアルベルティーヌは祖母の誕生日を祝いにブルターニュ地方へ訪れた。そこに集まった老若男女の大家族はそれぞれの人生模様を繰り広げる。

映画祭おススメ企画

●東アジア映画●

12.1 (日) パルテノン多摩小ホール

あの時代を忘れない

90年代を時代背景に、あの頃をノスタルジックに描いた映画を特集。台湾、香港で大ヒットした『あの頃、君を追いかけた』。韓国で「初恋ブーム」を巻き起こした『建築学概論』。初恋の喜びを鮮明に思い出させてくれる秀作です。

あの頃、君を追いかけた (You Are the Apple of My Eye)

[110分 / 2011年 / 台湾 / 監督・脚本・原作：ギデンス・コー 主演：クー・チェンドン]

台湾中西部の町、彰化。高校生コートンと個性豊かな仲間たちは、将来のことを真剣に考えもせず、くだらない悪戯で授業を妨害する毎日を過ごしていた。成績優秀な女生徒チアイーは、彼の勉強の面倒見役を仰せつかった。お互いに相手を疎ましく思いながらも、次第に胸がざわつき始め…。

建築学概論 (Architecture 101)

[117分 / 2012年 / 韓国 / 監督：イ・ヨンジュ 主演：オム・テウン]

建築家のスンミンのもとに、仕事を依頼しにやって来たソヨン。スンミンは、その再会によって、彼女と過ごした学生の頃の気持ちを思い出す。彼女との仕事を通じて、新たな感情が芽生えていく。しかし、スンミンには婚約をしている女性がいて…。



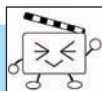
©Sony Music Entertainment Taiwan Ltd.

© 2012 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved

シベリア超特急 — シベ超ニュース —

TAMA CINEMA FORUM とも因縁(?) 深い『シベ超』。新作『シベリア超特急 EPISODE I』は来年公開予定らしいです。先日新作ポスターを見ましたが、超有名映画シリーズを彷彿させる絵柄で大変カッコ良かったです。期待しています！

お知らせ コーナー



次回特別上映会は **2014年2月22日(土)** を予定しています (会場はベルブホール)。

作品は現在選定中です。お楽しみに。

映画祭新実行委員を募集します

映画好きの方、イベント好きの方、ぜひ映画祭実行委員として映画祭の運営に参加してみませんか。後日説明会を実施いたしますので、詳細は事務局にお問い合わせ下さい。また、詳細決定次第 HP にも掲載いたします。

支援会員制度のお願い

“実行委員やたまシネマ隊として参加するのは難しいけれどTAMA映画フォーラムを応援したい”

そんな方はぜひ「支援会員」としてとしての応援をお願い致します。

[支援金寄付 個人会員]

一口1000円 ご協力いただいた方は、映画祭パンフレットの贈呈や特別上映会の料金割引などの特典もございます。

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会 (ご不明な点はお問い合わせ下さい)

こちらもご利用ください ▼

TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ www.tamaeiga.org/

@tamaeiga (最新情報をフォロー) www.facebook.com/tamaeiga (facebookページに「いいね!」で参加)